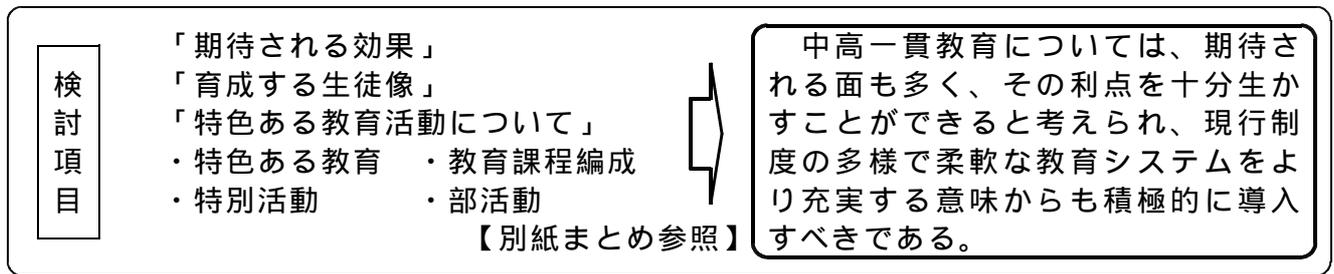


京都府の中高一貫教育に関する検討の経過

1 「京都府中高一貫教育研究会議」 平成10年9月設置 平成12年3月「京都府中高一貫教育研究会議まとめ」

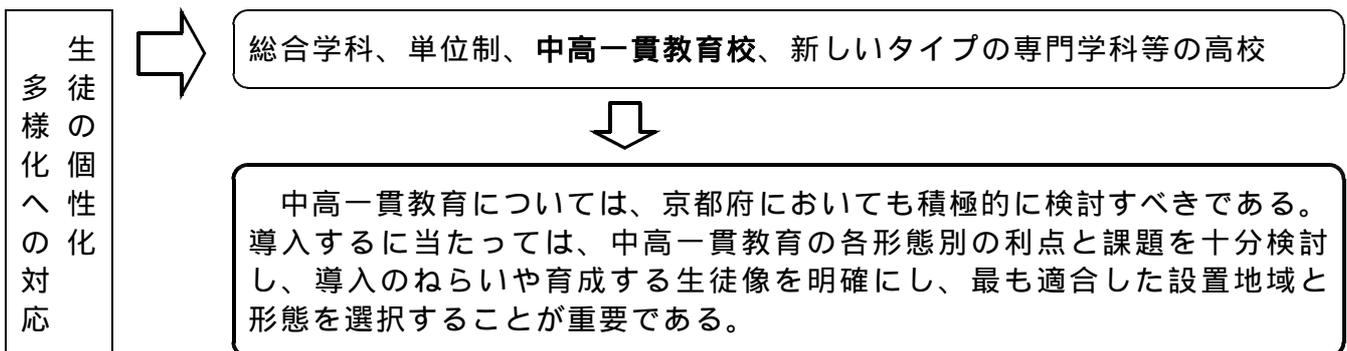


2 「中高一貫教育実践研究校」 平成11年度～平成12年度年指定

地域	府立高校	市町村立中学校	研究課題
舞鶴地域	東舞鶴高校	青葉中学校 白系中学校	・6年間を見通した進路指導の在り方
乙訓地域	西乙訓高校	長岡第四中学校 大山崎中学校	・中学校と高等学校が連携した効果的な教育活動

連携型の中高一貫教育の在り方について報告書

3 「府立学校在り方懇話会」平成12年5月設置



4 「府立高校改革推進計画」(平成15年3月)と第1次実施計画(平成15年7月)

京都府においては、既設の府立高校に中学校を併設する形の併設型中高一貫教育校を設けます。また、連携型などの他の形態の中高一貫教育校の設置も検討し、府民の中等教育に関する選択肢を広げるようにします。

中高一貫教育の実施に当たっては、府域全体を見渡し、それぞれの地域の事情やニーズを踏まえ、関係市町村教育委員会の意見も聞き、十分な連携を図りながら進めるものとします。

平成16年4月 府立洛北高等学校附属中学校開校
定員 80名(府内全域から募集)
コンセプトは～サイエンス～

京都府の中高一貫教育イメージ

中高一貫教育校の特徴

- ゆとり ... ゆとりある学校生活の中で、個性や創造性の伸長
 つながり ... 6年間の計画的、継続的な指導による効果的な教育
 ひろがり ... 6年間の継続的把握による個性の伸長や才能の発見
 の育成 ... 幅広い異年齢集団活動による社会性や豊かな人間性

未来にはばたく資質の育成

育成する生徒像

- ・ 知的好奇心や探究心が旺盛で、自己教育力を備えた創造性豊かな生徒
- ・ 表現力、コミュニケーション能力が豊かで、新しい環境へ適応しつつ行動できるバイタリティあふれた生徒
- ・ 自己本位に陥ることなく相手の立場を理解しつつ、自分を主張でき、個性を生かせるたくましい生徒
- ・ 善悪の判断ができ、自分の考えに自信を持ち、かつ、自分自身に厳しい生徒
- ・ 社会性、協調性に富み、他者を思いやる豊かな心を持った生徒
- ・ 地域を愛し、地域に貢献できる生徒

教育活動

特色ある教育

総合的な学習の時間を活用した異年齢集団における活動
 ・ 6年間という長いスパンで系統的に勤労観・職業観を育成
 地域の特色を生かした科目の設定

教育課程編成

基礎基本の重視と能力・適性、興味・関心
 進路希望に対応できる選択教科の設定
 ・ 6年間の継続性を考慮した教科内容の精選
 ・ 再編成
 コミュニケーション能力の育成に重点をおいた科目等の設定
 体験や発表等を重視した教育の工夫
 外国語（英語）教育の重視
 情報教育の重視

特別活動

異年齢集団による合同の学校行事・ボランティア活動の実施
 ティア活動の実施
 6年間を通じた体験活動・ボランティア活動の実施

部活動

合同練習による競技力の向上
 多くの人的・社会的な力
 ション能力、社会性、リーダーシップ等の育成
 一貫した指導

高
校

中
学
校

高
校

中
学
校

中高一貫教育の特例措置

中等教育学校（前期課程）及び併設型の中学校

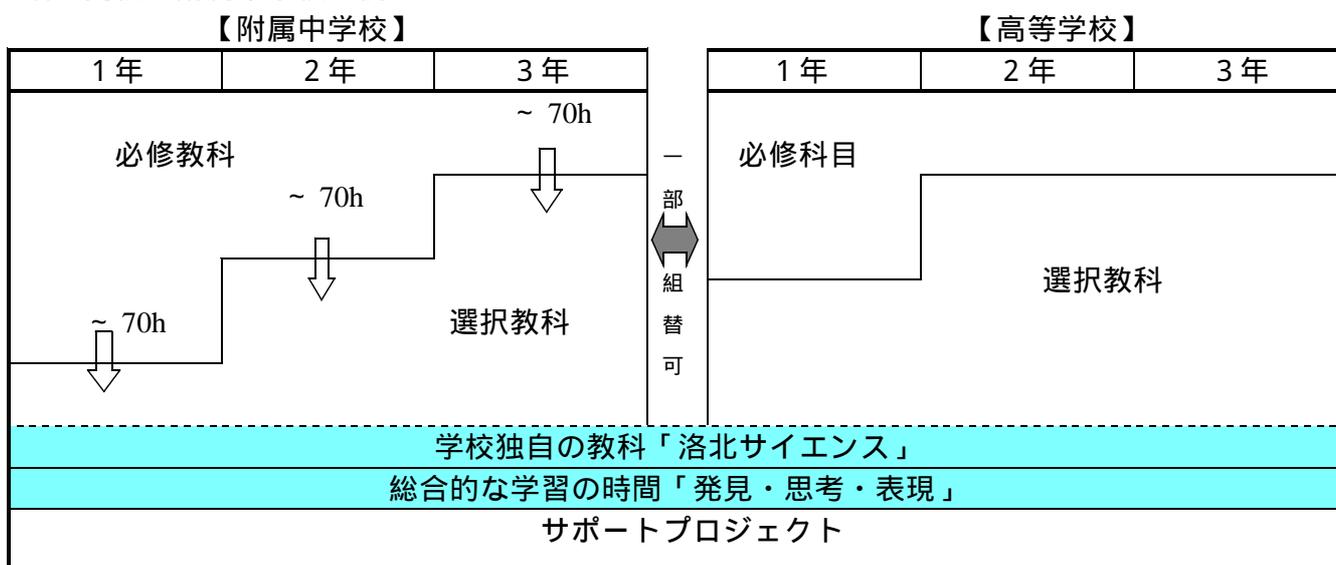
項 目	一般の中学校	中等教育学校、併設型の特例
選択教科による必修教科の代替	なし	各学年の必修教科の授業時数を、年間70単位時間の範囲内で減じ、当該必修教科の内容を代替することができる内容の選択教科の授業時数に充てることができる。
各選択教科の授業時数	第1学年 年間30単位時間の範囲内 第2、3学年 年間70単位時間の範囲内	特に必要がある場合には、左の時数を超えて必要な時数を各学校において定めることができる。

中等教育学校（後期課程）及び併設型の高等学校

項 目	一般の高等学校	中等教育学校・併設型の特例
普通科における学校設定教科・科目の単位数	20単位	30単位
	卒業に必要な修得単位数に含めることができる。	

平成16年4月から、上記の特例措置は連携型も可能となり、さらに中等教育学校と併設型は中学校と高校での教える内容の一部を組み替えて教えることができるようになった。

洛北高校・附属中学校の例



6年間を通じて特色ある教科を設定できる。

公立中高一貫教育校設置状況

()は市立の内数

都道府県	併設型		連携型		中等教育学校	
	～H16	H17～	～H16	H17～	～H16	H17～
北海道			5			1
青森			2			
岩手			2			
宮城		1	1			
秋田	2 (1)	1				
山形		1 (1)	2			
福島		1		3		
茨城			1			
栃木		2				
群馬			3		1	1 (1)
埼玉	1	1 (1)	1			
千葉			1			
東京		8	6			3 (1)
神奈川						
新潟	1	1			2	
山梨	1 (1)					
長野						
富山						
石川	1		2			
福井			1			
岐阜			2			1
静岡	3 (1)		1			
愛知			1			
三重			4			
滋賀	3					
京都	2 (1)					
大阪			1			
兵庫					1	
奈良			1			
和歌山	1		3			
鳥取						
島根			3			
岡山	2 (1)		1			
広島	3 (2)		2			
山口	1		2		1	
徳島	1	1	2			
香川	2					
愛媛	3					
高知	3		3			
福岡	2				1	
佐賀	1	3	1			
長崎	2		3			
熊本			2			
大分			1			
宮崎					1	
鹿児島		1 (1)	2			
沖縄		1	3			
計	35 (7)	22 (3)	65	3	7	6 (2)

京都府の中学校 1 年生の設置者別構成率

表中の数値は、学校基本数調査による在籍者数

入学年度	公立中学校		私立中学校		国立中学校		計	生徒数指数
	人数	構成率	人数	構成率	人数	構成率		
元年度	33,615人	92.64%	2,411人	6.64%	261人	0.72%	36,287人	100.00
6年度	26,564	90.43	2,561	8.72	250	0.85	29,375	80.95
11年度	23,883	89.18	2,641	9.86	257	0.96	26,781	73.80
16年度	20,323 (200)	86.83 (0.85)	2,819	12.05	263	1.12	23,405	64.50

注1 「生徒数指数」は、平成元年度の生徒数を100.00とする。

- 2 私立中学校、国立中学校の在籍者には、他府県の小学校出身者が含まれる。
16年度開校の洛北高校附属中学校、西京高校附属中学校の人員。(内数)

公立小学校 6 年生児童数と翌年度の公立中学校 1 年生数の比較

表中の数値は、学校基本数調査による在籍者数

	乙訓	山城	南丹	中丹	丹後	京都市
63小6	2,231人	8,224人	2,238人	3,208人	1,898人	17,929人
中1↓	2,115	7,784	2,233	3,156	1,873	16,454
減少数	-116	-440	-5	-52	-25	-1,475
減少率	5.20%	5.35%	0.22%	1.62%	1.32%	8.23%
小6	1,732人	6,509人	2,098人	2,571人	1,512人	14,191人
中1↓	1,624	5,992	2,048	2,530	1,510	12,860
減少数	-108	-517	-50	-41	-2	-1,331
減少率	6.24%	7.94%	2.38%	1.59%	0.13%	9.38%
小6	1,479人	5,841人	2,059人	2,529人	1,414人	12,803人
中1↓	1,356	5,315	1,989	2,428	1,398	11,397
減少数	-123	-526	-70	-101	-16	-1,406
減少率	8.32%	9.01%	3.40%	3.99%	1.13%	10.98%
小6	1,269人	5,031人	1,650人	2,116人	1,253人	11,081人
中1↓	1,142	4,477	1,550	2,033	1,239	9,802
減少数	-127	-554	-100	-83	-14	-1,279
減少率	10.01%	11.01%	6.06%	3.92%	1.12%	11.54%

- 注 「減少数」は、地域の市町村立中学校へ入学しなかった生徒の数であり、私立中学・国立中学等への進学者数及び転居による転入・転出などによる増減数の合計である。
洛北高校附属中学校、西京高校附属中学校を含まない数値である。